

新住職ごあいさつ

並びに晋山式ご報告

法蔵寺二十九世

量譽真宏

りょうよしんこう

この度、皆様のお力添えを戴きまして、法蔵寺の法灯を継ぐこととなりました。六百年を超える歴史を持つ当山ですが、その時代ごとの檀家の皆様の思い、歴代住職の思いなどを考えると、その重責に堪えられるかと不安に思いますが、自分のできる限りのことを行い、歴史を紡いでいければと思っております。

さて過日、令和二年十一月八日（日）に、住職交代の儀式『晋山式（しんざんしき）』が無事に挙行されました。当日は晴天に恵まれ、気温も暖かく、何よりありがたいことでした。

出席者は本来ですと檀家の皆様にお声がけをし、当代一度きりの厳粛な儀式を見ていただきたかったのですが、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、日光近隣地区のお寺様、そして檀家様代表として「晋山実行委員」の皆様だけご臨席戴き、挙行いたしました。

約三十年前に行われた先代（第二十八世）の晋山式では、お稚児さんが多く出席し、行事を華やかにしてくださいましたが、今回は自粛させていただきました。

『お練り行列』は、本堂前から出発。車参道（坂道）を下り、赤門参道を登り、赤門まで進みました。



過去帳伝達の様子

赤門では、『開門式』が行われ、「新命（しんめい）。新住職のこと」入山。開門！」の号令で、総代様の手により赤門が開門。新住職を招き入れました。

続いて『歴代上人墓所参

拝』。これから儀式を行いますと、報告させていただきました。

そして『堂内式』。晋山式のメインの儀式が行われました。

栃木県の代表のお上人より住職認証の書状が渡され、その後先代住職から、法蔵寺に伝わる御袈裟（おけさ）、過去帳（かこちょう）が新住職に伝達されました。

最後に、檀家様代表である檀信徒筆頭総代、大島茂様よりご挨拶を頂き、一連の儀式が完了しました。

多くの檀家の皆様にお祝いして頂き、本年開催には、多々困難もありましたが、無事に代替わりを終えられましたこと、本当にありがとうございました。改めて、深く感謝申し上げます。改めて、深く感謝申し上げます。ご挨拶とご報告とさせていただきます。

合掌